

事業名：農業振興資金貸付事業

農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和45年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内に住所を有し、かつ、農業振興地域の整備に関する法律（農振法）に基づく農用地区域内に経営地を有する農業者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
融資機関（農協）が農業者に貸付ける振興資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。 ◎1～5号資金 市が農協に融資額の1/2を預託 ◎6号資金 市が農協に融資額の2/3を預託									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設・機械等の導入実現のため、国・道の制度資金を補完する融資事業であり、低利で利用しやすい貸付資金の提供により、施設・機械等を導入しやすくし、農業者の農産物の生産性の維持・向上、農業所得の向上、農業生産の基盤強化を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標1	総農家数（～26年度 選挙人名簿/27年度～ 農林業センサス）	世帯	421	398	421	398
対象指標2						
活動指標1	新規貸付件数	件	7	0	23	19
活動指標2	新規貸付金額	千円	5,275	0	28,500	18,500
成果指標1	施設・機械等の導入数	件	0	0	23	19
成果指標2						
事業費 (A)		千円	38,823	28,034	46,535	28,056
正職員人件費 (B)		千円	1,963	1,941	1,913	1,926
総事業費 (A+B)		千円	40,786	29,975	48,448	29,982

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	融資機関（農協）が農業者に貸付ける農業振興資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。	無利子預託金（継続枠24件、新規枠19件）28,056千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
29年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
向上					
維持		○			
低下					
改革方向性（成果）					

事業名：合併処理浄化槽設置貸付事業

農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内の下水道が整備されていない地域の居住者。									
手段（事務事業の内容、やり方）									
農業振興資金特認資金分（合併処理浄化槽設置費用）としての原資の一部として融資機関に無利子で預託を行うことにより農業者への貸付利率の低減を図る。 ※生活環境部環境室では、合併処理浄化槽の助成金制度があり、設置に係る費用の一部（基準助成額）の概ね4割を国費、道費、市費で助成しており、設置費用残額（上限あり）を農業振興課で貸付するものである。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
合併処理浄化槽の計画的な整備を図り、し尿と雑排水を併せて処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	総農家数（～26年度 選挙人名簿/27年度～ 農林業センサス）	世帯	421	398	421	398
対象指標 2	下水道認可区域外の世帯	世帯	1,344	1,376	1,339	1,523
活動指標 1	新規貸付件数	基	1	0	2	2
活動指標 2	新規貸付金額	千円	725	0	1,450	1,450
成果指標 1	設置基数	基	1	0	2	2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,265	900	1,990	1,630
正職員人件費 (B)		千円	393	388	383	385
総事業費 (A+B)		千円	1,658	1,288	2,373	2,015

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	農業振興資金特認資金分（合併処理浄化槽設置費用） 融資機関（農協）が農業者に貸付ける農業振興資金の 原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行 うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。	無利子預託金（継続枠1件、新規枠2件）1,630千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
		向上	維持	低下
			○	

事業名：鳥獣被害防止対策事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
農業被害等をもたらす鳥獣									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣被害対策実施隊を設置する等、関係機関の連携により対策を講じる。</li> <li>・「有害鳥獣駆除助成事業補助金交付要領」に基づき、鳥獣対策を行う団体等に対して事業費を補助する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
鳥獣による農業被害を減少させる。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	対象鳥獣	種類	4	4	4	4
対象指標 2						
活動指標 1	鳥獣被害対策実施隊出動数	回	20	22	24	114
活動指標 2	鳥獣被害対策実施隊派遣数	人(のべ)	288	270	470	380
成果指標 1	鳥獣捕獲数	頭・羽	55	105	60	110
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	90	90
正職員人件費 (B)		千円	2,749	2,717	2,678	2,696
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>2,749</b>	<b>2,717</b>	<b>2,768</b>	<b>2,786</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣被害対策実施隊による捕獲活動</li> <li>・捕獲活動経費助成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣被害対策実施隊報酬 60千円</li> <li>・捕獲活動経費助成 30千円</li> </ul> このほか、江別市鳥獣被害防止対策協議会へ直接交付される国費を活用

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	<b>改革方向性（成果）</b>	向上	維持	低下

事業名：江別産農畜産物ブランディング事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	2 えべつ <small>の</small> 将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開				
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援				
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内農業者及び市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
〈小麦〉「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、地元産小麦の安定供給への支援に対して補助する。 〈黒毛和牛〉「えぞ但馬牛ブランド化支援事業実施要領」に基づき、次のとおり補助する。 ①精液等購入経費：補助率1/2以内 ②繁殖牛自家保留：1万円以内/頭 ③受精卵移植：5,500円以内/回									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
農畜産物の安定生産及び安定供給を図ることで、既存商品の維持や新商品開発等につなげるとともに、市民への認知度を高めていく。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市内農業者（～26年度 選挙人名簿/27年度～農林業センサス）	人	1,140	924	1,140	924
対象指標 2	市民	人	120,335	119,587	119,587	119,250
活動指標 1	補助金額（小麦関係）	千円	1,570	2,079	1,890	867
活動指標 2	精液購入等補助金額	千円	730	640	750	750
成果指標 1	特産品の認知個数	品目	2	2	2	2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,300	3,090	0	1,617
正職員人件費 (B)		千円	3,534	3,882	3,826	3,852
総事業費 (A+B)		千円	5,834	6,972	3,826	5,469

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>小麦生産団体への補助</li> <li>和牛生産団体への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブランド化小麦地域安定供給支援事業補助 867千円</li> <li>黒毛和牛優良種雄牛精液購入等補助 750千円</li> </ul> ※28年度当初予算は、27年度補正予算2,640千円を繰越したため0千円となっている。 【改革方向性（コスト）における比較用の事業費（参考）】 28年度当初予算…2,640千円、28年度総事業費…6,466千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

  

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：「食」と「農」の豊かさ発見実践事業 農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内小中学生及び市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者等を講師に小中学生を対象とした農業体験及び加工体験を実施する。</li> <li>・食育を推進するための協議会を開催する。</li> <li>・農業者団体が実施する消費者との交流活動の事業費を補助する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
「食」についての共通認識のもと、次代を担う小学生や消費者に、「食ること」の大切さと「地域農業」に対する理解を深めてもらう。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,235	9,015	8,802	8,683
対象指標 2	市民	人	120,335	119,587	119,587	119,250
活動指標 1	農業体験学習等延べ実施回数	回	38	40	32	36
活動指標 2	食育推進協議会議実施回数	回	1	1	1	1
成果指標 1	農業体験学習等延べ参加者数	人	1,941	1,993	1,797	2,244
成果指標 2	参加者の「食」及び「農業」に対する関心度	%	97.4	92.3	100	100
事業費 (A)		千円	1,512	1,633	1,955	3,566
正職員人件費 (B)		千円	7,460	8,152	8,034	7,318
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>8,972</b>	<b>9,785</b>	<b>9,989</b>	<b>10,884</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生食育事業（農業体験学習等・一部の体験メニューを委託）</li> <li>・中学生食育事業（生産者等を招いた授業・レシピコンテスト）</li> <li>・学校給食への地場産牛乳の提供</li> <li>・農業者団体が実施するの農業体験への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生食育事業費 3,069千円</li> <li>・中学生食育事業費 231千円</li> <li>・地場産農産物導入支援 145千円</li> <li>・農業体験への補助 100千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：都市と農村交流事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開				
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援				
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内農業者及び市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、都市と農村の交流事業に対して補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
生産者と消費者との相互理解を深め、グリーン・ツーリズム関連施設（農作業体験施設、農家レストラン、農産物直売所など）の利用増を図ることで、市民の地産地消や農村地域の活性化につなげる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市内農業者（～平成26年度 選挙人名簿） / （平成27年度～ 農林業センサス）	人	1,140	924	1,140	924
対象指標 2	市民	人	120,335	119,587	119,587	119,250
活動指標 1	イベント開催回数	回	18	16	20	20
活動指標 2	各部会等開催回数	回	13	20	10	10
成果指標 1	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	485,790	528,866	486,000	529,000
成果指標 2	イベント参加者の満足度	%	100	90	80	80
事業費 (A)		千円	1,069	992	0	1,800
正職員人件費 (B)		千円	5,104	5,047	5,356	5,392
総事業費 (A+B)		千円	6,173	6,039	5,356	7,192

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会へ補助金を支出</li> <li>＜協議会の事業内容＞</li> <li>直売所スタンプラリー、直売所マップ作成、農産物加工品ブランドシール作成、野菜栽培講習会、収穫体験バスツアーなど</li> <li>農畜産物加工新商品開発等支援として補助金を支出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会への補助 1,000千円</li> <li>農畜産物加工新商品開発等支援補助 800千円</li> </ul> <p>※28年度当初予算は、27年度補正予算1,800千円を繰越したため0千円となっている。 【改革方向性（コスト）における比較用の事業費（参考）】 28年度当初予算…1,800千円、28年度総事業費…7,156千円</p>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：酪農経営安定技術高度化支援事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内酪農家									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>「乳質改善促進事業実施要領」に基づき、乳質検査に係る経費の一部に対して助成を行う。（定額150千円）</li> <li>「産学官連携畜産技術高度化促進支援事業実施要綱」に基づき、江別市ホルスタインショウに係る経費の一部に対して助成を行う。（補助率1/2以内）</li> <li>「酪農ヘルパー支援事業実施要綱」に基づき、酪農ヘルパー人件費の一部に対して助成を行う。（補助率1/2以内）</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
生産性の向上と就業環境の整備が図られ、持続可能で安定した酪農経営ができる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	酪農家戸数	戸	46	43	46	43
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,163	1,185	1,200	1,200
活動指標 2	検査牛延べ頭数	頭	15,745	15,115	16,560	16,560
成果指標 1	酪農家 1戸当たり乳量	t	501.1	522.8	501.1	522.8
成果指標 2	酪農ヘルパー利用延べ回数	回	462	559	462	559
事業費 (A)		千円	1,163	1,185	1,200	1,200
正職員人件費 (B)		千円	5,497	5,435	5,356	5,392
総事業費 (A+B)		千円	6,660	6,620	6,556	6,592

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳質検査に係る経費の一部に対して助成を行う。</li> <li>江別市ホルスタインショウに係る経費の一部に対して助成を行う。</li> <li>酪農ヘルパー人件費の一部に対して助成を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳質サンプル検査に係る経費への補助 150千円</li> <li>江別市ホルスタインショウに係る経費への補助 350千円</li> <li>酪農ヘルパー人件費への補助 700千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：次世代就農定着サポート事業

農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	その他

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
就農予定者及び若手農業者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
農業次世代人材投資資金（経営開始型）（旧：青年就農給付金（経営開始型））支給 ・（仮称）江別市農業次世代人材投資資金給付要領（旧：江別市青年就農給付金事業（経営開始型）給付要領）									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
45歳未満農業者の増加									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	45歳未満農業者数（～26年度 選挙人名簿/27年度～ 農林業センサス）	人	206	188	210	188
対象指標 2						
活動指標 1	青年就農給付金支給件数	件	4	5	9	9
活動指標 2	45歳未満の新規就農相談件数	件	3	4	4	4
成果指標 1	45歳未満農業者の割合（～26年度 選挙人名簿/27年度～ 農林業センサス）	%	18.2	20.3	18.4	20.3
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	9,750	4,500	13,500	13,500
正職員人件費 (B)		千円	4,319	2,329	2,295	3,081
総事業費 (A+B)		千円	14,069	6,829	15,795	16,581

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	国の実施要綱に基づく農業次世代人材投資資金（経営開始型）（旧：青年就農給付金（経営開始型））支給	農業次世代人材投資資金（経営開始型） 13,500千円 （旧：青年就農給付金（経営開始型））

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：農村環境改善センター維持管理費

農業振興課 農村環境整備係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和54年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	農村環境改善センター
手段（事務事業の内容、やり方）	農村環境改善センターの維持・管理に要する経費。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	農村環境改善センターが適切に運営管理される。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	施設数	施設	2	2	2	1
対象指標 2						
活動指標 1	維持・管理経費	千円	15,668	15,436	14,493	4,138
活動指標 2	開設日数	日	329	331	330	329
成果指標 1	利用者数	人	18,733	14,930	10,800	2,700
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	15,668	15,436	14,493	4,138
正職員人件費 (B)		千円	1,178	1,164	765	1,155
総事業費 (A+B)		千円	16,846	16,600	15,258	5,293

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	農村環境改善センターの管理運営・維持修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善センター職員給与 800千円</li> <li>電気料・水道料・ガス代 724千円</li> <li>消防設備保守・浄化槽管理料等 575千円</li> <li>施設の緊急時の修繕費 200千円</li> <li>重油タンク・浄化槽処理業務 1,580千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性	29年度から、江別市農村環境改善センター（江北）の機能は、都市と農村の交流センターに移転することから、今後は、野幌農村環境改善センターのみの管理となる。	減少	維持	増加
維持				
見直し		○		
新規				
休止 廃止 その他				

事業名：花き・野菜栽培技術指導センター管理運営事業 農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	花き・野菜栽培技術指導センター
手段（事務事業の内容、やり方）	施設の運営管理を指定管理者に委託する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	施設の維持管理運営を適切に行い、花き・野菜の生産振興の拠点機能を発揮させる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	9,662	9,925	9,956	9,970
活動指標 2						
成果指標 1	管理運営上の不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	9,662	9,925	9,956	9,970
正職員人件費 (B)		千円	2,356	2,329	2,295	2,311
総事業費 (A+B)		千円	12,018	12,254	12,251	12,281

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	施設の運営管理を指定管理者に委託する。	指定管理料 9,970千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
29年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
維持		改革方向性（成果）	向上		
見直し			維持		○
新規			低下		
休止					
廃止					
その他					

事業名：家畜排せつ物処理施設設置貸付事業 農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内畜産農家									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市家畜排せつ物処理施設設置資金貸付要領に基づき、江別市家畜排せつ物処理施設設置資金（江別市農業振興資金特認資金）を設置し、融資機関（農協）が農業者に貸し付ける資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減（無利子貸付）を図る。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
畜産農家の資金不足による家畜排せつ物処理施設の未整備を解消し、家畜排せつ物法に基づく適正な管理及び利用をすすめ、地域の環境保全、循環型農業の確立を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	畜産農家戸数	戸	72	69	72	69
対象指標 2	家畜排せつ物法適用農家戸数（一定規模以上の農家）	戸	69	60	60	60
活動指標 1	新規貸付件数	件	0	0	0	0
活動指標 2	新規貸付金額	千円	0	0	0	0
成果指標 1	家畜排せつ物処理施設整備農家戸数	戸	69	60	60	60
成果指標 2	家畜排せつ物処理施設整備率	%	100	100	100	100
事業費 (A)		千円	1,320	1,100	880	660
正職員人件費 (B)		千円	393	388	383	385
総事業費 (A+B)		千円	1,713	1,488	1,263	1,045

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	江別市家畜排せつ物処理施設設置資金を設置し、融資機関が農業者に貸し付ける資金の原資の一部として、市が融資期間に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。	無利子預託金 660千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下
			○	

事業名：排水路維持管理経費

農業振興課 農村環境整備係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成19年度	終了年度	平成29年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	その他

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
農業用排水路									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市土地基盤整備事業規則に基づき床浚いは事業費の2/3、草刈は事業費の1/2を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
農業用排水路の排水能力を維持する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標1	排水路の数	条	74	59	59	59
対象指標2	排水路延長	m	77,580	68,730	68,730	68,730
活動指標1	補助金額	千円	1,877	2,574	1,658	1,838
活動指標2						
成果指標1	排水路床浚い延長	m	2,200	2,450	1,480	870
成果指標2						
事業費(A)		千円	2,020	2,646	1,803	1,983
正職員人件費(B)		千円	1,178	1,165	1,530	1,541
総事業費(A+B)		千円	3,198	3,811	3,333	3,524

29年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業用排水路敷地内不法投棄処理</li> <li>第9次江別市排水路改修5か年計画に基づき補助金を支出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄ゴミ処理費 145千円</li> <li>農事組合への補助金 1,838千円（角山、協和）</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別麦の会支援事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別麦の会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別麦の会を円滑に運営する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
生産、加工、流通、消費、研究などに関わる各分野の交流を深めることで、麦の生産振興を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	会員数	人	44	45	44	45
対象指標 2						
活動指標 1	視察等対応件数	件	3	7	8	8
活動指標 2	会合回数	回	1	1	1	1
成果指標 1	事業数	回	2	2	1	1
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	2,356	2,329	2,295	2,311
総事業費 (A+B)		千円	2,356	2,329	2,295	2,311

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会の開催</li> <li>・「江別麦の会」に関する取材対応</li> </ul>	人件費事業

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別の米で酒を造ろう会支援事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成12年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
酒米生産者及び市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別産米を原料とした地酒を委託方式により醸造するため、生産・流通・販売に関する企画立案を支援する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市内で生産された米を使用して、地酒「瑞穂のしずく」を造り、地酒のPRをするとともに、江別産米の消費を拡大する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	酒造好適米「慧星」作付農家戸数	戸	4	4	4	4
対象指標 2	市民	人	120,335	119,587	119,587	119,250
活動指標 1	会合回数	回	1	1	1	1
活動指標 2						
成果指標 1	「瑞穂のしずく」販売量	リットル	7,932	8,081	5,751	10,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	2,356	2,329	2,295	2,311
総事業費 (A+B)		千円	2,356	2,329	2,295	2,311

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新酒発表会の開催</li> <li>・総会の開催</li> <li>・「瑞穂のしずく」に関する取材対応</li> </ul>	人件費事業

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：都市と農村の交流センター建設事業

農業振興課 農村環境整備係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	平成29年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
平成26年度 基本設計・現況測量 平成27年度 実施設計 平成28年度 建設工事 平成29年度 外構工事									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江北中学校跡地に都市と農村の交流センターを建設する。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標1	市民	人	120,335	119,587	119,587	119,250
対象指標2						
活動指標1	事業費	千円	8,407	25,248	495,481	76,200
活動指標2						
成果指標1	建設された交流施設数	施設	0	0	1	0
成果指標2						
事業費(A)		千円	8,407	25,248	495,481	76,200
正職員人件費(B)		千円	3,534	1,165	3,060	3,081
<b>総事業費(A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>11,941</b>	<b>26,413</b>	<b>498,541</b>	<b>79,281</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市と農村の交流拠点施設新築外構工事</li> <li>体育室床面整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新築外構工事 74,000千円</li> <li>体育室の床面ウレタンワックス塗布 1,700千円</li> </ul> <p>※28年度当初予算は、27年度補正予算10,620千円を繰越したため495,481千円となっている。 【改革方向性（コスト）における比較用の事業費（参考）】 28年度当初予算…506,101千円、28年度総事業費…509,161千円</p>

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：花き・野菜栽培技術指導センター改修事業 農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
花き・野菜栽培技術指導センター									
手段（事務事業の内容、やり方）									
施設設備の老朽化に対応するため、改修を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設本来の機能（育苗）を持続・発揮させて、生産者へ高品質苗の安定供給を行う。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	改修費	千円	17,591	14,561	265	3,000
活動指標 2						
成果指標 1	改修箇所数	箇所	4	4	1	2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	17,591	14,561	265	3,000
正職員人件費 (B)		千円	785	776	383	385
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>18,376</b>	<b>15,337</b>	<b>648</b>	<b>3,385</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
29年度	施設設備の改修	3号棟の被覆材改修 1,460千円 4号棟の被覆材改修 1,540千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：日本型直接支払交付金

農業振興課 農村環境整備係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
農地・農業施設の保全等のために活動する組織									
手段（事務事業の内容、やり方）									
活動組織に対して、市が多面的機能支払交付金を支払う。多面的機能支払交付金は、平成27年度から国費分を含め道費として市に交付されているが、市の負担分は25%である。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
地域の共同活動を支援することにより、農業・農村の有する多面的機能が適切に維持、発揮される。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標1	活動組織数	団体	8	9	9	9
対象指標2						
活動指標1	協定締結数	協定	8	9	9	9
活動指標2	交付金	千円	0	188,984	189,101	189,006
成果指標1	協定農用地面積	ha	5,632	5,770	5,778	5,772
成果指標2						
事業費(A)		千円	46,761	188,984	189,101	189,134
正職員人件費(B)		千円	5,890	3,882	5,738	5,777
<b>総事業費(A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>52,651</b>	<b>192,866</b>	<b>194,839</b>	<b>194,911</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	・農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して交付金を支出	・多面的機能支払交付金 189,006千円 ・保全情報記録システム使用料・回線費 121千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
29年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	減少	維持	増加
向上				
維持			○	
低下				
改革方向性（成果）				

事業名： 6次産業化支援事業

農業振興課 農村環境整備係

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開				
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内農業者及び市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
地域おこし協力隊による「都市と農村の交流センター」内に設置されるテストキッチンの操作指導等により、農業者の6次産業化を支援する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
6次産業化の推進及びテストキッチンの利用促進を図る。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市内農業者（～平成26年度 選挙人名簿） / （平成27年度～ 農林業センサス）	人	0	0	1,140	924
対象指標 2	市民	人	0	0	119,587	119,250
活動指標 1	協力隊員数	人	0	0	1	1
活動指標 2						
成果指標 1	テストキッチン利用者数	人	0	0	0	1,100
成果指標 2	交流センター利用者数	人	0	0	0	16,100
事業費 (A)		千円	0	0	2,708	2,929
正職員人件費 (B)		千円	0	0	765	770
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3,473</b>	<b>3,699</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
29年度	・テストキッチンの操作指導等による6次産業化の支援	・地域おこし協力隊報酬 2,280千円 ・活動用車両維持費 524千円 ・セミナー参加費 57千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：都市と農村の交流センター管理運営事業 農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
都市と農村の交流センター									
手段（事務事業の内容、やり方）									
施設の管理運営を指定管理者に委託する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設の維持管理運営を適切に行い、施設の効用を発揮させる。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	施設数	施設	0	0	0	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理委託料	千円	0	0	0	21,600
活動指標 2						
成果指標 1	管理運営上の不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	21,800
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	2,311
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>24,111</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
29年度	施設の管理運営を指定管理者に委託する。	消耗品費 100千円 施設等修繕費 100千円 指定管理料 21,600千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
29年度への改善方向性	「食」と「農」により学びと活力を生み出す、新たな体験・交流拠点として設置し、都市と農村の交流を図る。施設供用開始と同時に、指定管理者による管理運営を行う。	減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：江別経済ネットワーク事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
大学、研究機関、企業などから参加する経済ネットワークの会員									
手段（事務事業の内容、やり方）									
例会（講演、研究成果発表、情報交換等）の開催									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
例会などを通して参加者間の情報交換や連携を進め、研究や事業活動を活性化する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	経済ネットワーク会員数	人	176	193	184	190
対象指標 2						
活動指標 1	経済ネットワーク例会開催回数	回	4	7	6	6
活動指標 2						
成果指標 1	例会参加者数	人	139	306	150	150
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	34	204	679	223
正職員人件費 (B)		千円	3,534	3,106	3,060	3,852
総事業費 (A+B)		千円	3,568	3,310	3,739	4,075

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済ネットワーク例会開催</li> <li>・セラミックス交流会活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済ネットワーク講師謝礼 56千円</li> <li>・取組成果広報経費等 134千円</li> <li>・セラミックス交流会経費 33千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：企業立地等補助金

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開					
			プログラム	① 「食」の付加価値を高める産業の集積					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内に対象施設を立地等（新設・増設・設備更新）を検討している企業 対象施設：①製造加工施設 ②環境エネルギー関連施設 ③試験研究施設 ④物流関連施設 ⑤植物工場 ⑥情報関連施設 ⑦コールセンター	
手段（事務事業の内容、やり方）	
「江別市企業立地等の促進に関する条例」に基づき補助金が交付されることを掲示 補助対象：①製造加工施設 ②環境エネルギー関連施設 ③試験研究施設 ④物流関連施設 ⑤植物工場 ⑥情報関連施設 ⑦コールセンター 補助金概要：①立地補助金…家屋、償却資産の固定資産税相当額を交付 ②雇用補助金…市内居住者新規雇用に対し1人あたり20万円（障がい者の場合20万円加算）を交付 市外居住者新規雇用に対し1人あたり10万円を交付 ③下水道使用料補助金…各月500㎡を超える部分の年間使用料の1/2の額を交付 ④設備更新補助金…償却資産のうち機械及び装置の固定資産税相当額を交付	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市内に企業が補助金を利活用して立地等（新設・増設・設備更新）する。	

指標・事業費の推移		区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	補助金交付企業数		社	1	2	5	8
対象指標 2							
活動指標 1	補助金額		千円	5,180	28,795	79,721	88,572
活動指標 2							
成果指標 1	補助金認定件数（累計）		件	22	24	27	30
成果指標 2							
		事業費 (A)	千円	5,180	28,795	79,721	88,572
		正職員人件費 (B)	千円	3,927	3,882	3,826	3,852
		総事業費 (A+B)	千円	9,107	32,677	83,547	92,424

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	江別市企業立地等の促進に関する条例に基づく補助金交付	補助金 88,572千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				○
廃止 その他				

事業名：企業誘致推進事業

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開				
			プログラム	① 「食」の付加価値を高める産業の集積				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

<b>事務事業の目的と成果</b>	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
企業・事業所	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道庁、産業支援機関、企業情報調査会社等からの情報収集</li> <li>・企業、産業支援機関等へのPR活動</li> <li>・立地を検討している企業への情報提供、立地支援等</li> </ul>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
道内外企業・事業所を市内に誘致する。	

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	企業・事業所数	社	410,802	397,735	410,802	397,735
対象指標 2						
活動指標 1	企業、産業支援機関等の訪問数等	社	134	126	100	100
活動指標 2						
成果指標 1	立地企業・事業所数	社	5	1	5	4
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,262	1,740	1,693	1,516
正職員人件費 (B)		千円	18,062	15,528	15,302	15,406
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>20,324</b>	<b>17,268</b>	<b>16,995</b>	<b>16,922</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致に係る情報収集</li> <li>・パンフレット等による情報発信</li> <li>・企業訪問等</li> <li>・首都圏等で開催する企業誘致イベントの出席</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業信用調査 540千円</li> <li>・企業誘致パンフレット更新、増刷 432千円</li> <li>・企業訪問、イベント出席に係る旅費 403千円</li> </ul>

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：起業化促進支援事業

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
起業を目指す市民・事業計画を見直す開業者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業化を目指す市民や新事業を計画する起業のための相談員を設置</li> <li>・低廉な賃料のアンビシャスプラザの入居スペースを提供することによる起業家の負担軽減</li> <li>・開業や経営についての知識習得につなげるためのセミナー（実践創業塾等）開催</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業家が市内で開業する。</li> <li>・アンビシャスプラザ入居企業の業績を拡大する。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市民	人	120,335	119,587	119,587	119,250
対象指標 2	市内事業所数	所	3,409	3,468	3,409	3,468
活動指標 1	起業に関する相談件数	件	27	9	30	30
活動指標 2	アンビシャスプラザ新規入居件数	件	2	1	2	2
成果指標 1	新規起業数	社	2	3	3	3
成果指標 2	アンビシャスプラザ入居区画数	区画	6	6	8	8
事業費 (A)		千円	2,488	2,366	3,243	3,276
正職員人件費 (B)		千円	1,571	7,764	7,651	7,703
総事業費 (A+B)		千円	4,059	10,130	10,894	10,979

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業診断士による起業化促進支援相談</li> <li>・インキュベート施設共用部の賃貸</li> <li>・実践創業塾等の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員報酬 174千円</li> <li>・共用部賃貸 2,294千円</li> <li>・実践創業塾等開催経費 742千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名：商工業活性化事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援				
開始年度	平成 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
①中小企業団体 ②中小企業者 ③商店街団体 ④個人									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う事業に対して補助する。</li> <li>・共同施設等の整備や土地取得費、商店街の景観向上整備（ハード事業）や、人材育成、新製品・新技術の開発、販路拡大等（ソフト事業）に対する補助メニューがある。</li> <li>・事業申請書を提出し、補助事業の指定を受けたのち補助金を交付する。</li> <li>・事業終了後は報告書を提出する。</li> <li>・「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別市商工業活性化事業補助要綱」に基づき、市内の商工業の活性化に対する効果が認められる事業に対し、補助率1/10～7/10の範囲内（限度額400～8,000千円）で補助する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
共同施設の改善や商店街の景観向上、イベントや新商品開発により事業者の活力向上並びに商店街の魅力を高める。									

指標・事業費の推移							
		区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	中小企業所数		所	3,409	3,468	3,409	3,468
対象指標 2	商店街組合数		件	8	8	8	8
活動指標 1	補助金額		千円	4,522	2,971	9,320	4,660
活動指標 2							
成果指標 1	補助金の活用件数		件	24	21	24	21
成果指標 2							
事業費 (A)			千円	4,522	2,971	9,320	4,660
正職員人件費 (B)			千円	3,141	3,106	3,060	3,081
総事業費 (A+B)			千円	7,663	6,077	12,380	7,741

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う人材育成やイベント事業に対して補助する。</li> <li>・商店街の建築協定に基づき、れんが・れんがタイル等を店舗外観に使用し、景観向上による商店街の活性化に対し補助する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工業活性化事業補助金 4,000千円</li> <li>・商店街建築協定推進事業補助金 660千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下
			○	

事業名：江別商工会議所補助金

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略						
取組の 基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
商工会議所（中小企業相談所）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・江別商工会議所が実施する経営指導、各種相談業務等に対して補助する。</li> <li>・「江別市商工労働関係補助金交付規則」及び「江別商工会議所補助金交付要領」に基づき、江別商工会議所に対し、中小企業相談所運営費の1/2（限度額8,500千円）、関係団体運営費の1/2（限度額75千円）を補助する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
公平な機関として、中小企業者の成長発展を促進するための経営相談等のサービスを提供する。									

<b>指標・事業費の推移</b>							
		区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	商工会議所		所	1	1	1	1
対象指標 2	商工会議所会員数		所	860	862	860	862
活動指標 1	補助金額		千円	8,575	8,575	8,575	8,575
活動指標 2							
成果指標 1	経営指導件数		件	954	1,055	954	1,055
成果指標 2	相談件数		件	2,560	2,210	2,560	2,210
事業費 (A)			千円	8,575	8,575	8,575	8,575
正職員人件費 (B)			千円	1,571	2,329	2,295	2,311
<b>総事業費 (A+B)</b>			<b>千円</b>	<b>10,146</b>	<b>10,904</b>	<b>10,870</b>	<b>10,886</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
29年度	江別商工会議所が実施する経営相談、各種相談業務について補助する。	・補助金 8,575千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>			
29年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果） 向上 維持 低下	減少	維持	増加
維持					
見直し					
新規				○	
休止					
廃止					
その他					

事業名：江別市商店街振興組合連合会補助金 商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業		戦略						
取組の 基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市商店街振興組合連合会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
・「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」に基づき、江別市商店街振興組合連合会の指導事業費の1/2を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
商店街の組織化、近代化を推進するとともに、商店街の振興発展と連合会の運営の円滑化を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	連合会加入組合等の数	組合	8	8	8	8
対象指標 2	連合会加入組合傘下の商店等の数	所	101	96	136	96
活動指標 1	補助金額	千円	800	800	800	800
活動指標 2						
成果指標 1	会員への事務処理等指導件数	件	8	8	8	8
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	800	800	800	800
正職員人件費 (B)		千円	785	776	765	770
総事業費 (A+B)		千円	1,585	1,576	1,565	1,570

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	江別市商店街振興組合連合会指導事業に対し補助金を支出	江別市商店街振興組合連合会指導事業への補助金 800千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名： シルバー人材センター事業補助金 商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
高齢者の就業を支援する団体									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市商工労働関係補助金交付規則」及び「公益社団法人江別市シルバー人材センター補助金交付要領」に基づきシルバー人材センターに対し、同センターの管理運営費（人件費・事務運営費等）を補助する。補助額は国の補助基準に基づき決定する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
高齢者の経験と技術を生かした就業の場を提供する。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	高齢者の就業を支援する団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	10,080	16,750	23,381	23,541
活動指標 2						
成果指標 1	（社）江別市シルバー人材センター受注事業費	千円	227,915	221,863	227,915	230,000
成果指標 2	（社）江別市シルバー人材センター延就業者人数	人日	48,469	46,876	48,469	48,000
事業費 (A)		千円	10,080	16,750	23,381	23,541
正職員人件費 (B)		千円	785	776	765	770
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>10,865</b>	<b>17,526</b>	<b>24,146</b>	<b>24,311</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
29年度	シルバー人材センターへの補助	補助金 23,541千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止 その他				
	<b>改革方向性（成果）</b>	向上	維持	低下

事業名：勤労者研修センター管理運営事業 商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和58年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	勤労者研修センター
手段（事務事業の内容、やり方）	指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	勤労者の研修等を実施するため、施設の維持管理・運営を適切に行う。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	9,124	9,283	9,213	9,169
活動指標 2	開館日数	日	293	294	294	292
成果指標 1	利用者数	人	13,840	13,549	13,840	13,549
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	9,124	9,283	9,213	9,169
正職員人件費 (B)		千円	1,178	1,165	1,148	1,541
総事業費 (A+B)		千円	10,302	10,448	10,361	10,710

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	江別市勤労者研修センター管理運営費として、指定管理者へ管理代行させる	・指定管理料 9,169千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：勤労者生活資金貸付事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内在住及び市内事業所に勤務する従業員									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内同一事業所に1年以上勤務又は市内に1年以上在住し同一事業所に勤務する従業員を対象に、100万円を上限として一般生活資金等を融資する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
低利子の融資により、市内勤労者の生活安定に寄与する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市内事業所従業員数	人	31,342	33,694	31,342	31,342
対象指標 2						
活動指標 1	勤労者生活資金貸付制度預託額	千円	3,500	3,500	3,500	3,500
活動指標 2						
成果指標 1	新規生活資金利用者数	件	2	0	2	2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,500	3,500	3,500	3,500
正職員人件費 (B)		千円	393	388	383	385
総事業費 (A+B)		千円	3,893	3,888	3,883	3,885

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	市内同一事業所に1年以上勤務又は市内に1年以上在住し同一事業所に勤務する従業員を対象に、100万円を上限として一般生活資金等を融資する。	・貸付金 3,500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：勤労者福祉共済制度助成事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略						
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト						
				プログラム						
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
江別市勤労者共済会	
手段（事務事業の内容、やり方）	
江別市勤労者共済会の管理運営費の一部として、江別市勤労者福祉共済制度助成事業補助金交付要領に基づき、補助金を交付する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市内の中小企業等の従事者の福祉向上に寄与する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	勤労者共済会加入者数	人	827	859	827	859
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,952	1,952	2,123	2,124
活動指標 2						
成果指標 1	各種共済給付金給付額	千円	2,073	3,700	2,073	3,700
成果指標 2	各種福利厚生事業費	千円	1,760	2,352	1,760	2,352
事業費 (A)		千円	1,952	1,952	2,123	2,124
正職員人件費 (B)		千円	393	388	383	770
総事業費 (A+B)		千円	2,345	2,340	2,506	2,894

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	江別市勤労者共済会に対する運営費の一部を補助する。	・補助金 2,124千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
29年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	向上	減少	維持	増加
維持						○
見直し						
新規						
休止						
廃止						
その他						

事業名：労働振興補助金

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業		戦略						
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
単位組合の数が10組合以上で構成され、労働者の地位向上を図る団体									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市労働振興補助金交付要領に基づき、労働相談・労働教育及び労働団体の推進など労働者の地位向上に関する事業などに対して、補助を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市内労働団体の労働条件を向上させるため、労働者の保護や意識啓発に関する事業を実施する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標1	連合北海道江別地区連合組合数	団体	22	21	21	21
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	737	737	737	185
活動指標2						
成果指標1	事業参加者数	人	689	619	689	619
成果指標2						
事業費(A)		千円	737	737	737	185
正職員人件費(B)		千円	393	388	383	770
総事業費(A+B)		千円	1,130	1,125	1,120	955

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	労働者の地位向上や体育・文化活動、講習等に係る事業費の一部を補助する。	補助金185千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		向上		
見直し				
新規				
休止		低下		
廃止			○	
その他				

事業名：江別の顔づくり事業（商業等活性化事業）

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略						
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト						
				プログラム						
開始年度	平成11年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助	

<b>事務事業の目的と成果</b>										
対象（誰、何に対して事業を行うのか）										
野幌駅周辺地域 「野幌駅周辺地区活性化計画における対象区域」										
手段（事務事業の内容、やり方）										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民交流や市民活動の拠点づくりと、活性化活動団体や商店街等の行う地域の活性化に向けた取り組みを支援する。</li> <li>・「江別の顔づくり支援促進事業補助金交付要綱」に基づき、江別の顔づくり事業を推進し、野幌駅周辺で活動する団体等に対し、事業費の7/10（事業費30万円以上のもの）を補助する。</li> </ul>										
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
街なかに賑わいを醸し、商業等の活性化を図る。										

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	野幌駅周辺の面積	h a	8	8	8	8
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	350	343	350	350
活動指標 2	野幌駅周辺で開催した地域活性化イベントの数	回	11	9	11	9
成果指標 1	活性化活動拠点の利用者数	人	2,840	0	0	0
成果指標 2	野幌駅周辺で開催した地域活性化イベントの参加者数	人	37,600	37,400	51,000	37,400
事業費 (A)		千円	1,029	345	368	350
正職員人件費 (B)		千円	19,633	19,410	19,128	1,926
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>20,662</b>	<b>19,755</b>	<b>19,496</b>	<b>2,276</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
29年度	江別の顔づくり事業の推進に寄与する地域活性化事業に対する補助	江別の顔づくり支援促進事業補助金 350千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：旧岡田倉庫活用事業

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成17年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
旧岡田倉庫活用民間運営協議会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
アートスペース外輪船を芸術文化活動等の拠点として運営する協議会に対して「旧岡田倉庫活用事業補助金交付要領」に基づき補助金を交付し、芸術文化事業の推進を支援する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民が芸術文化活動等の発表の場や自由に交流する空間としてアートスペース外輪船を活用することにより、江別の歴史や文化的な価値の高さを啓発するとともに、周辺地域の活性化に寄与する。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	旧岡田倉庫活用民間運営協議会会員数	人	32	31	32	31
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,000	1,000	1,000	1,000
活動指標 2						
成果指標 1	事業等開催数	回	119	107	119	110
成果指標 2	利用者数	人	3,376	3,587	3,376	3,376
事業費 (A)		千円	1,010	1,010	1,010	1,010
正職員人件費 (B)		千円	785	2,329	765	770
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>1,795</b>	<b>3,339</b>	<b>1,775</b>	<b>1,780</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	「旧岡田倉庫活用事業補助金交付要領」に基づき補助金を交付	補助金 1,000千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>				
29年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	向上	減少	維持	増加
維持			維持	○		
見直し						
新規						
休止						
廃止						
その他						

事業名：江別駅前再開発事業

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
えべつみらいビル									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>江別駅前活性化の拠点施設である㈱SPCみらいの業務棟（えべつみらいビル）、福祉棟の健全な事業遂行のための継続した支援</li> <li>市が支援する駅周辺再開発事業の経営安定を図るため、えべつみらいビルの3、4階フロアを20年間借上げ</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
コールセンター等をえべつみらいビルに誘致し、賑わいを創出することで、江別駅周辺地区を活性化させる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標1	えべつみらいビルテナント部分床面積	坪	1,299.78	1,299.78	1,299.78	1,299.78
対象指標2						
活動指標1	えべつみらいビル3、4階賃借料	千円	118,843	118,843	118,843	118,843
活動指標2	入居率（ビル全体）	%	100	45.9	100	100
成果指標1	江別駅周辺地区の新規開業数	件	7	13	7	11
成果指標2	江別駅乗降客数	人/日	7,895	7,929	7,895	7,929
事業費(A)		千円	118,889	118,889	118,889	118,889
正職員人件費(B)		千円	3,141	3,106	3,060	3,852
総事業費(A+B)		千円	122,030	121,995	121,949	122,741

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	えべつみらいビル3・4階の賃貸	賃貸料 118,843千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名：食を軸とした地場産品販路拡大支援事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
			プログラム	② マーケティングの視点に基づいた産業振興				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
中小企業者	
手段（事務事業の内容、やり方）	
北海道や北海道貿易物産振興会が実施する北海道産品取引商談会への参加等、マーケティング支援を最大限活用し、地域内・地域外での積極的な地場産品の販売戦略等を江別市が関係団体等と連携しながら推進する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
販路拡大や商品開発・ブランド化に向けて商談会や催事への企業出展を促す。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	中小企業所数	所	3,409	3,468	3,409	3,468
対象指標 2						
活動指標 1	商談会・催事出展件数	件	4	4	5	5
活動指標 2						
成果指標 1	商談会・催事出展企業数	社	24	30	30	30
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	182	1,785	0	553
正職員人件費 (B)		千円	1,571	1,941	2,295	3,081
総事業費 (A+B)		千円	1,753	3,726	2,295	3,634

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	マーケティングテスト販売（地下歩行空間ほか） 商談会（札幌、東京） 江別産品試食評価相談会開催（江別市民会館） 江別産品フェア（東京都区内）	商談会 （北海道産品取引商談会、インフォメーションバザール） 240千円 江別産品試食評価相談会開催経費 111千円 江別産品フェア開催経費（道内、道外） 198千円  ※28年度当初予算は、27年度補正予算473千円を繰越したため0千円となっている。 【改革方向性（コスト）における比較用の事業費（参考）】 28年度当初予算…473千円、28年度総事業費…2,768千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性	事業名に記載していた「観光誘客」は本事業の派生的効果であることからこれを見直し、当事業の主体的目的である「販路拡大や商品開発・ブランド化」へ焦点を絞った内容とする。	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：総合特区推進事業

参事（総合特区推進）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	④ 大学・研究機関との共同研究の推進				
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（フード特区）計画に取り組む組織・機関・団体等									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>食の高付加価値化 食品の評価試験システム「江別モデル」を推進するための補助金交付等</li> <li>海外市場の開拓 海外市場開拓・販路拡大を支援するための補助金交付・海外催事出展</li> <li>食のまちPR フード特区の取り組みを首都圏企業等にPRする</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
食関連産業の立地環境整備を側面的に支援することで、食関連企業・研究施設等の新規立地や、既存企業の事業拡大による増設を促進し、食関連企業の集積を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	特区協議会構成員数	団体	89	89	90	89
対象指標 2						
活動指標 1	食品の臨床試験ボランティア登録者数	人	4,750	6,227	7,000	7,600
活動指標 2	補助金額	千円	10,295	6,691	7,000	7,000
成果指標 1	食関連企業の新増設数	社	1	1	2	1
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	17,858	14,537	5,524	12,531
正職員人件費 (B)		千円	11,780	7,764	7,651	7,703
総事業費 (A+B)		千円	29,638	22,301	13,175	20,234

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>フード特区機構の運営等に係る経費の負担金を支出</li> <li>機能性食品開発を支援する補助金を交付</li> <li>海外市場開拓・販路拡大を支援する補助金の交付及び海外催事出展</li> <li>フード特区の取組を首都圏企業等にPRする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フード特区機構負担金 2,834千円</li> <li>機能性食品開発支援補助金 6,500千円</li> <li>海外市場開拓等促進補助金 500千円</li> <li>海外市場開拓支援事業 1,086千円</li> <li>フード特区広報事業 1,135千円</li> </ul> <p>※28年度当初予算は、27年度補正予算6,500千円を繰越したため5,524千円となっている。 【改革方向性（コスト）における比較用の事業費（参考）】 28年度当初予算…12,024千円、28年度総事業費…19,675千円</p>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：商店街参入促進事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	平成29年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
コミュニティ活動啓発セミナーの開催により高齢者や学生など多様な主体がコミュニティビジネスなどの活動を商店街で始められるよう促す。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
商店街でのコミュニティ活動参加に対する機運を醸成するため、セミナー参加者を増やし参入の促進を図る。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市民		120,335	119,587	119,587	119,250
対象指標 2						
活動指標 1	セミナー開催数	回	1	4	2	2
活動指標 2						
成果指標 1	セミナー参加者数	人	47	50	50	50
成果指標 2	参入相談件数	件	7	4	2	2
事業費 (A)		千円	530	337	750	500
正職員人件費 (B)		千円	1,571	1,553	2,295	2,311
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>2,101</b>	<b>1,890</b>	<b>3,045</b>	<b>2,811</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ活動啓発セミナーの開催（先進事例や実例紹介、補助金制度の紹介）</li> <li>・活動参入者へのサポート事業の実施（補助金相談や商店街との調整等）</li> </ul>	コミュニティ活動啓発セミナー開催及び参入サポート事業に係る委託経費 500千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：有給インターンシップ等地域就職支援事業 商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
				プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業</li> <li>・市内大学の学生</li> </ul>									
手段（事務事業の内容、やり方）									
①市内大学の学生が市内企業で継続してインターンシップを行えるよう、インターンシップ従事中の賃金相当を受入企業が負担する「有給インターンシップ」を実施し、制度を学生に周知して参加を促す。 ②市内関係機関連絡会議等を通じて市内大学が開催する学内企業説明会に参加する市内企業を支援する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
学生の学費・生活費確保と、市内企業の労働力確保の両立を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市内大学の在籍学生数	人	10,711	9,991	10,711	9,991
対象指標 2						
活動指標 1	有給インターンシップ新規登録者数	人	0	55	50	50
活動指標 2	市内大学の就職関連の取組について情報提供した企業数	社	53	91	50	50
成果指標 1	有給インターンシップ参加学生数	人	4	40	40	45
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2	11,364	0	13,056
正職員人件費 (B)		千円	1,571	2,329	2,295	3,081
総事業費 (A+B)		千円	1,573	13,693	2,295	16,137

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	有給インターンシップ制度の運営委託 市内大学・高校の就職状況調査経費	有給インターンシップ制度の運営委託 13,042千円 就職状況調査・会議開催経費 14千円  ※28年度当初予算は、27年度補正予算13,992千円を繰越したため0千円となっている。 【改革方向性（コスト）における比較用の事業費（参考）】 28年度予算…13,992千円、28年度総事業費…16,287千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：働きたい女性のための就職支援事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
			プログラム	② 潜在労働力の掘り起し（就労支援）				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
就職を希望している女性	
手段（事務事業の内容、やり方）	
①就職に有効な接遇やパソコン操作などの技能を習得するための研修を実施する。 ②企業実習により女性の就職や就職後の定着を支援する。 ③就職や育児の相談窓口を開設し、現在または将来就職を考えている女性への助言を行う。 ④就職支援セミナーやイベントの開催、女性の雇用に積極的な企業に関する情報提供などを行い、女性と企業の接点を増やす。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
働きたいと考える女性が就職もしくは再就職できるよう、課題を解決する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市内の女性数（15～64歳）	人	38,227	37,369	37,369	36,756
対象指標 2	ハローワーク江別管内女性有効求職登録者数	人	0	0	0	1,081
活動指標 1	就職支援セミナー開催回数	回	3	1	4	4
活動指標 2	就職支援研修実施回数	回	0	4	2	2
成果指標 1	就職支援セミナー来場者数	人	32	110	100	100
成果指標 2	就職者数	人	0	45	50	50
事業費 (A)		千円	193	25,045	0	21,048
正職員人件費 (B)		千円	785	2,329	2,295	3,081
総事業費 (A+B)		千円	978	27,374	2,295	24,129

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	職場実習を含む人材育成・マッチング研修（合計48名） ハローワーク登録者を対象としたセミナー 潜在労働力の掘り起こしを目的としたイベント開催（1回） 就職相談窓口開設（週1回）	人材育成・マッチング研修 18,445千円 ハローワーク登録者向けセミナー 146千円 相談窓口開設 1,550千円 イベント開催 907千円 ※28年度当初予算は、27年度補正予算22,061千円を繰越したため0千円となっている。 【改革方向性（コスト）における比較用の事業費（参考）】 28年度予算…22,061千円、28年度総事業費…24,356千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性	ハローワーク江別と共催するセミナーについて、H28年度から既定予算の中で実施したが、H29年度からは継続的に取り組むこととして事業内容に盛り込み予算を計上した。直接的な就職に結びつかないパソコン講習について単独実施を見直し、イベントの一部に組み込むこととした。	減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：経済活動広報事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化			
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化			
				プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援			
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市民
手段（事務事業の内容、やり方）	市内の経済・産業・企業を紹介する記事を市内各世帯に配布されるフリーペーパーや広報紙に掲載する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	様々な媒体で市内の産業や企業を紹介する事により、市民の認識を広げる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市民	人	120,335	119,587	119,587	119,250
対象指標 2	世帯数	世帯	55,236	55,530	55,530	56,047
活動指標 1	年間発行回数	回	1	6	12	8
活動指標 2						
成果指標 1	広報した産業・企業数	件	4	6	12	12
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	900	900	900	4,230
正職員人件費 (B)		千円	1,571	1,553	2,295	3,852
総事業費 (A+B)		千円	2,471	2,453	3,195	8,082

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	フリーペーパーでの企業紹介記事掲載（3回） 広報えべつでの企業紹介記事掲載（4回） 情報誌の作成・全道への配布	フリーペーパーでの企業紹介記事作成・掲載委託 450千円 情報誌の作成・配布 3,780千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性	平成27年度に商業施設「EBRI」の開業を機に発行した情報誌について、市内外からの反響が大きかったことから、平成29年度は江別の産業・企業紹介を目的として本事業により発行する。	減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：高校生就職支援事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
				プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内高校の生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
高校生のインターンシップに対する支援（研修実施） 就職希望者に対する面接指導・研修 企業交流会の実施									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
高校生に対し、適切な進路・職業を選択するための職業観の醸成、および進路や職業に就くための知識の習得を支援する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市内高校の生徒数	人	4,394	4,135	4,394	4,135
対象指標 2	市内高校卒業予定者のうち就職希望者数	人	142	146	142	146
活動指標 1	就業体験の参加生徒数	人	148	271	180	180
活動指標 2	就職希望者に対する研修等の開催回数	回	12	11	10	10
成果指標 1	就業体験に参加した生徒のうち、意義があったと思う生徒の割合	%	96	91	100	100
成果指標 2	就職希望者に対する研修等に参加した生徒のうち、役に立ったと思う生徒の割合	%	85	95	100	100
事業費 (A)		千円	2,613	2,500	2,500	2,500
正職員人件費 (B)		千円	2,356	2,329	2,295	2,311
総事業費 (A+B)		千円	4,969	4,829	4,795	4,811

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	高校生のインターンシップに対する支援（研修実施） 就職希望者に対する面接指導・研修 企業交流会の実施	事業実施委託 2,500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：野幌駅周辺地区商店街活性化促進事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	平成29年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
野幌商店街									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題の解決を目的としたコーディネーターを常設し支援を実施する。</li> <li>・「野幌駅周辺地区商店街活性化促進補助要綱」に基づき、野幌商店街の要請により出店するテナントに改装費の1/2（上限：300万円）や家賃の1/2（1年間、月額上限5万円）を補助する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 街路事業に伴う野幌商店街の再編整備に係る地域課題が解決される。</li> <li>2. 野幌商店街の集客力向上のため店舗を誘致する。</li> </ol>									

指標・事業費の推移							
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算	
対象指標 1	野幌商店街		1	1	1	1	
対象指標 2							
活動指標 1	コーディネーター数	人	1	1	1	1	
活動指標 2	補助金額	千円	0	0	3,300	4,000	
成果指標 1	相談件数	件	112	137	70	70	
成果指標 2	誘致件数	件	0	0	1	1	
事業費 (A)		千円	3,980	4,944	7,308	6,454	
正職員人件費 (B)		千円	1,571	1,941	3,826	3,852	
総事業費 (A+B)		千円	5,551	6,885	11,134	10,306	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の地域課題を解決するコーディネーターを常設</li> <li>・商店街の要請により出店するテナントに対し改装費や家賃を補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター委託費 2,454千円</li> <li>・誘致テナントへの補助金 4,000千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
29年度への改善方向性	コーディネーター常設に関する費用について商店街振興組合との費用負担について見直しを実施		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持	○		
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：工業団地環境整備事業

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
工業団地	
手段（事務事業の内容、やり方）	
道路改修	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
団地内企業が操業し易い環境にする。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	工業団地（第一、第二工業団地、RTNパーク）の面積	ha	0	0	387.9	387.9
対象指標 2						
活動指標 1	工事費	千円	0	0	25,000	25,000
活動指標 2						
成果指標 1	工事延長	m	0	0	259	265
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	25,000	25,000
正職員人件費 (B)		千円	0	0	3,826	3,852
総事業費 (A+B)		千円	0	0	28,826	28,852

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	工業町1号道路改修工事（延長265m）	工事費 25,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
29年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名： 中小企業資金融資事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略				
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト				
				プログラム				
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2		補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別市内の中小企業者
手段（事務事業の内容、やり方）	市内金融機関へ必要な資金を預託し、低利の融資制度を運用する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	中小企業者の経営の安定、経営基盤の強化を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市内の事業所数（非農林漁業）	所	0	0	0	3,426
対象指標 2						
活動指標 1	新規融資額	千円	0	0	0	299,025
活動指標 2	信用保証料補給金額	千円	0	0	0	11,434
成果指標 1	新規融資件数	件	0	0	0	112
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	1,168,758
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	6,162
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	1,174,920

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中小企業振興資金融資</li> <li>・ 小規模企業安定資金融資</li> <li>・ 商工業近代化資金融資</li> <li>・ 中小企業信用保証料補給</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸付金 1,156,019千円</li> <li>・ 斡旋手数料 1,305千円</li> <li>・ 信用保証料補給金 11,434千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性	平成29年度より、既存の4事業（中小企業振興資金融資事業、小規模企業安定資金融資事業・中小企業振興融資診断事業（斡旋）、商工業近代化資金融資事業、中小企業信用保証料補給事業）を統合する。事業予算を統合することで、各資金需要の変化に柔軟に対応する。	減少	維持	増加
維持				
見直し		○		
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：えべつやきもの市イベント振興事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	行事イベント補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
やきもの市実行委員会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「えべつやきもの市事業補助金交付要領」に基づき、総事業費のうち、事務局費を除いた宣伝費、会場費、事業費を対象に補助金を交付。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市のPR、芸術文化の振興及び地域経済の活性化に寄与するとともに、イベントとしての楽しさを創造し社会性を育成する。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	実行委員会構成団体数	団体	10	10	10	10
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	2,900	2,700	2,700	2,700
活動指標 2						
成果指標 1	来場者数	人	50,000	45,000	45,000	45,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,900	2,700	2,700	2,700
正職員人件費 (B)		千円	1,571	1,553	1,530	1,541
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>4,471</b>	<b>4,253</b>	<b>4,230</b>	<b>4,241</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	えべつやきもの市実行委員会への補助	補助金 2,700千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：北海鳴子まつり事業補助金

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
えべつ北海鳴子まつり実行委員会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「北海鳴子まつり事業補助金交付要領」に基づき、北海鳴子まつり実行委員会への補助金を交付									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民相互の交流、観光誘客による市内経済の活性化を図る									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	実行委員会構成団体数	団体	12	12	12	12
対象指標 2	出場チーム数	団体	54	47	45	45
活動指標 1	補助金額	千円	2,200	1,700	1,700	1,700
活動指標 2						
成果指標 1	来場者数	人	12,000	12,000	12,000	12,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,200	1,700	1,700	1,700
正職員人件費 (B)		千円	785	776	765	770
総事業費 (A+B)		千円	2,985	2,476	2,465	2,470

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	えべつ北海鳴子まつり実行委員会への補助金の交付	補助金 1,700千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：江別市民まつり事業補助金

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民まつり実行委員会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別市民まつり事業補助金交付要領」に基づき、各市民まつり実行委員会に対する補助金の交付									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民相互の交流と、地域コミュニティを醸成する。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市民まつり実行委員会の数	団体	3	3	3	3
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	2,250	2,250	2,250	2,250
活動指標 2						
成果指標 1	来場者数	人	66,000	65,000	66,000	66,000
成果指標 2						
	事業費 (A)	千円	2,250	2,250	2,250	2,250
	正職員人件費 (B)	千円	1,571	1,553	1,530	1,541
	<b>総事業費 (A+B)</b>	<b>千円</b>	<b>3,821</b>	<b>3,803</b>	<b>3,780</b>	<b>3,791</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	市民まつり実行委員会への補助金交付	補助金 2,250千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>			
29年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
向上					
維持				○	
低下					

事業名：江別観光協会補助金

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
				プログラム	② 観光資源のパッケージ化				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別観光協会
手段（事務事業の内容、やり方）	「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別観光協会補助金交付要領」に基づき、江別観光協会事業への補助金交付
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	観光パンフレットの発行やホームページなどによる観光情報の提供、ボランティアガイド等の事業により観光振興を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	江別観光協会会員数	会員	180	189	200	196
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,707	1,784	2,647	2,940
活動指標 2						
成果指標 1	観光協会事業件数	件	7	9	7	8
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,707	1,784	2,647	2,940
正職員人件費 (B)		千円	3,927	3,882	3,826	4,622
総事業費 (A+B)		千円	5,634	5,666	6,473	7,562

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	江別観光協会事業への補助金交付 観光パンフレット「えべつコレクション」の作成や観光協会ホームページの運営、観光名刺の作成や市内外の各種イベント参加による特産品PR、ボランティアガイドによる見学会など	・観光宣伝物資製作費（パンフレット等） 2,420千円 ・えべつPR費（イベント、広告、ホームページ等） 375千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性	えべつコレクションの増刷により、市内外での配付を強化し観光PRを実施する。	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：江別アンテナショップGET'S管理運営事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつ <small>の</small> 将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
				プログラム	① 地域資源の観光への有効活用				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民及び観光客									
手段（事務事業の内容、やり方）									
歴史的れんが建造物である旧ヒダ工場内にアンテナショップを設置し、観光・物産等の魅力を発信・プロモーションする。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市をはじめ、姉妹都市グレシャム市及び友好都市土佐市の特産品のほか、江別市の観光情報等、魅力的な情報が手に入る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市民	人	0	0	119,587	119,250
対象指標 2						
活動指標 1	営業日数	日	0	0	365	359
活動指標 2						
成果指標 1	アンテナショップ来店者数	人	0	0	25,000	25,000
成果指標 2	アンテナショップ来店者数（市外）	人	0	0	3,750	3,750
事業費 (A)		千円	0	0	9,699	8,650
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,913	3,081
総事業費 (A+B)		千円	0	0	11,612	11,731

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	江別アンテナショップGET'S管理運営	江別アンテナショップGET'S管理運営費 7,620千円 チョコレートアート製作委託料 150千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：地域発見魅力発信事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
				プログラム	① 地域資源の観光への有効活用				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
周辺市町村									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内を周遊できるマップの作成・配布や地域プロモーションを実施し、江別周辺市町村への住民にPRする。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
地域資源を活用した観光情報を発信し、江別市の知名度向上を図り近隣市の住民や観光客の市内への入り込み数を増やす。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	周辺市町村数	市町村	8	8	8	8
対象指標 2						
活動指標 1	プロモーション事業件数	件	4	6	7	6
活動指標 2						
成果指標 1	主要観光施設観光入込客数(策定時5施設)	人	147,407	181,600	180,000	180,000
成果指標 2	主要観光施設観光入込客数	人	147,407	239,800	430,000	430,000
事業費 (A)		千円	2,852	3,118	5,351	6,524
正職員人件費 (B)		千円	2,356	3,106	3,826	4,622
総事業費 (A+B)		千円	5,208	6,224	9,177	11,146

29年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライブコースご当地ナビ事業（JAF）</li> <li>・さっぽろ広域観光圏推進事業</li> <li>・ノハナショウブ保存活用事業</li> <li>・英語版観光パンフレット作成事業</li> <li>・江別市リアル謎解きゲーム事業</li> <li>・地域おこし協力隊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライブコースご当地ナビ事業（JAF） 36千円</li> <li>・さっぽろ広域観光圏推進事業 500千円</li> <li>・ノハナショウブ保存活用事業 500千円</li> <li>・英語版観光パンフレット作成事業 1,080千円</li> <li>・江別市リアル謎解きゲーム事業 1,800千円</li> <li>・地域おこし協力隊 2,608千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
29年度への改善方向性	英語版パンフレット作成など新たな手段によるPRの実施。		減少	維持	増加
維持					
見直し					○
新規					
休止					
廃止 その他					

事業名：観光振興計画策定事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
				プログラム	① 地域資源の観光への有効活用				
開始年度	平成29年度	終了年度	平成30年度	区分1	新規	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市外の人									
手段（事務事業の内容、やり方）									
地方創生推進交付金を活用し江別市観光振興計画の策定に関連する観光商品の開発や観光人材の育成、計画策定支援事業の実施									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
交流人口の増加や産業振興を目的とした地域資源の活用や情報発信、ブランディングにつながる観光振興計画を策定する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	江別市外の人（把握困難）	人	0	0	0	0
対象指標 2						
活動指標 1	委託料	千円	0	0	0	13,950
活動指標 2						
成果指標 1	計画策定数	計画	0	0	0	1
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	14,000
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	4,622
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	18,622

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	観光振興計画策定に係わる支援業務 観光商品開発に向けた有識者による検討会議 観光人材育成セミナー	観光振興計画策定支援業務委託料 13,950千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
29年度への改善方向性	観光に関する市内外の状況の変化から国の地方創生推進交付金を活用し交流人口の増加や産業振興を目的とした観光振興計画策定のため事業を開始。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			○
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：消費者保護育成事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	01 安全な暮らしの確保			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
・ 市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 江別消費者協会への消費生活相談業務委託</li> <li>・ 江別消費者協会への消費生活コーディネーター業務委託</li> <li>・ 江別消費者協会の運営費及び事業費の一部を補助する。</li> <li>・ 消費啓発イベント実行委員会が主催する啓発活動の事業費を補助する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
被害の未然防止や被害後の救済の支援を行うことで、市民が安心・安定した消費生活を送ることができる。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市民	人	0	0	119,587	119,250
対象指標 2	江別消費者協会会員数	人	0	0	301	294
活動指標 1	年間相談開催日数	日	0	0	243	244
活動指標 2	消費啓発講座等開催回数	回	0	0	14	15
成果指標 1	消費生活相談受付件数	件	0	0	532	510
成果指標 2	消費啓発講座等参加者数	人	0	0	709	757
事業費 (A)		千円	0	0	7,735	7,567
正職員人件費 (B)		千円	0	0	5,738	3,852
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>13,473</b>	<b>11,419</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 江別消費者協会への消費生活相談業務委託</li> <li>・ 江別消費者協会への消費生活コーディネーター業務委託</li> <li>・ 江別消費者協会の運営費及び事業費の一部を補助する。</li> <li>・ 消費啓発イベント実行委員会が主催する啓発活動の事業費を補助する。</li> </ul>	消費生活相談業務委託 4,137千円 消費生活コーディネーター業務委託 400千円 江別消費者協会補助 2,241千円 消費活動啓発事業補助金 350千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
	<b>改革方向性（成果）</b>			
	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：歴史的れんが建造物保存活用事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	平成29年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	れんが建造物（旧ヒダ工場、すずらんボベダ）
手段（事務事業の内容、やり方）	旧ヒダ工場のほか、江別れんがを用いたモニュメント「すずらんボベダ」を含む歴史的れんが建造物の保存、活用を行う。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	れんが工場や窯業工場が栄華を誇った旧ヒダ工場や江別れんがに触れることのできる「すずらんボベダ」を保存・活用することで、地域文化を次代に引き継ぎ、市民のふるさと意識を醸成する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	れんが建造物の物件数（旧ヒダ工場、すずらんボベダ）	件	2	2	2	2
対象指標 2						
活動指標 1	歴史的れんが建造物維持点検数	回	3	2	0	0
活動指標 2	グレシャムアンテナショップ開設日	日	308	65	365	359
成果指標 1	歴史的れんが建造物の利活用件数	回	3	5	2	2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	21,344	84,567	17,710	10,945
正職員人件費 (B)		千円	3,927	3,882	3,826	3,081
総事業費 (A+B)		千円	25,271	88,449	21,536	14,026

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	旧ヒダ工場の保存活用	公有財産購入費償還金 （旧ヒダ工場跡地（平成17年取得分）購入費） 10,170千円 イベント開催経費 775千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

